


メディカル英語 No.4

医学英語の比較研究を読む

—— RCT とコホート研究の構造を見分ける

 **今日のゴール：** 比較研究論文（RCT・コホート研究）の英語構造（Abstract → Methods → Results → Discussion）を把握し、Table の数値・効果指標（RR・HR・OR・CI・p値）を素早く読み取れるようになる。「この研究は信頼できるか」を英語で判断する批判的読解力を習得する。

 この授業の問い

1. RCT とコホート研究の論文は、Methods のどの記述で見分けるか？
2. Results の Table を見て「どの数値が最重要か」を判断するには？
3. 「95% CI が 1 をまたぐ」とはどういう意味か。p値との関係は？

※ 授業後にもう一度この問いを見て、答えを書いてみよう。

 No.3 との接続：論文の種類と構造レベル

文書の種類	対象	構造	今回の焦点
Case Report (No.3)	1～数症例	CC→HPI→Assessment→Plan	臨床ストーリーの把握
比較研究（今回）	多数の患者群	Abstract→Methods→Results→Discussion	数値・効果指標の読解

採点者の視点

採点者はここを見ている —— 比較研究・RCT・コホート研究の問題で合格答案はこういう「構造」をしている

① なぜ同じ答えでも評価が違うのか

清光学院の講師陣は、これまでに皆さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何千枚も採点し、合格・不合格の判定を下してきました。その経験から言えることが一つあります。

「正しい答えを出していても、なぜそう考えたのかが見えない答案は、採点者の印象に残らない。」

比較研究・RCT・コホート研究の問題では、*研究デザインの読み分け根拠*の理解が答案の質を大きく左右します。

② 比較研究・RCT・コホート研究で採点者が見ているポイント

「RCTはランダム化で交絡を制御するが、コホートは観察のみ」と違いを明示した答案が採点者評価を上げる

 この授業の使い方

各問題のワンポイントには「採点者がどこを評価するか」の視点が含まれています。答えを出すだけでなく、根拠を一文添える習慣を意識しながら取り組んでください。

③ 総合型選抜・口頭試問でも同じ構造が問われる

採点者（大学教員）が口頭試問で確認したいのは「答えが出るか」ではなく「思考の構造を説明できるか」です。この授業で習得する「上から俯瞰する」視点は、あらゆる試験形式に通用します。

続きは講義でご覧いただけます

この教材には、採点者の視点・核心的な解法・入試問題・演習・まとめがさらに収録されています。

大学教授陣が設計した「普通の授業では出会えない接続点」を体験できる完全版は講義でご提供いたします。

清光学院 AP SEIKO 理系講座 © 清光教育総合研究所